

# GIN NO FUNE ハリケーンランタン取扱説明書



このたびは、商品をお買い上げいただきありがとうございます。  
本取扱説明書はランプを安全に正しくご使用いただくために、必ずお読み  
いただき、お読みいただいた後も大切に保管してください。

## ⚠️ 安全にご使用いただくためのご注意

- ◆燃料には、レインボーオイルなどのオイルランプ用パラフィン系炭化水素燃料、もしくは白灯油(ストーブ、ファンヒーターなどの燃料)をご使用下さい。  
アルコール、ガソリン、ホワイトガソリン、ベンジンなど揮発性燃料は絶対に使用しない。  
揮発・引火による火災の危険があります。  
劣化した灯油、植物油、食用油など粘度の高いオイルも燃焼不良の原因となります。
- ◆点火後、消火直後は本体上部、ガラスがたいへん高温となります。火傷にご注意下さい。  
ご使用中は目を離さないで下さい。就寝時は必ず消火し、うたた寝にご注意下さい。  
子どもさんやペットのいたずらに注意し、手の届く場所に置かないでください。
- ◆ご使用中は換気に注意し、換気できない密閉空間やテント内等ではご使用にならないで下さい。一酸化炭素中毒や頭痛の原因となります。
- ◆地震の揺れを感じたときはすぐに消火してください。安全のため、消火器をご用意ください。
- ◆燃えやすいものの近くに置かないで下さい。また可燃性ガスのスプレー、消毒用アルコールスプレーなどがかからないようご注意ください。引火による火災の危険があります。
- ◆傾けると燃料漏れを生じます。燃料の入れすぎ、揺れによる傾きにご注意下さい。  
置き場所に燃料の輪染みができることがありますので、汚れて困る場所に置かないで下さい。原則として屋外でのご使用をお願いいたします。

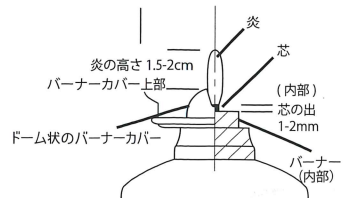
各部の名称



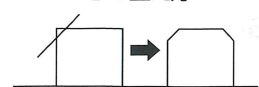
ホヤの倒し方



バーナー付近拡大



芯の整え方



# Gin no Fune

## ご使用手順1 点火まで

- ①ランプを安定した台の上に置き、トップフードのリングと吊り手ハンドルを一緒に片手で持ち、握力計のように握ってバネの力でトップフードを上げます。
- ②ホヤを注入口と逆方向に倒します。チムニー(ホヤ)ガードの針金が緩い場合、ホヤが落下することがありますので、空いた手で保持するか、タオルなどを敷いて下さい。
- ③バーナーが露出しますので、調整ダイヤルを水平方向に回してタンクからバーナーを取り出します。ドーム状のバーナーカバーが別部品になっているタイプでは、カバーを先に外してください)
- ④最初のご使用時と芯の交換後は、ほつれ糸を切り取り、図のように少し角をカットします。
- ⑤芯を平たいチューブの先から1~2mm程度出して、タンクにバーナーを戻します。
- ⑥ダイヤルを外した方向と逆方向に回し、緩まないよう、バーナーの爪でタンク溝に固定します。
- ⑦ホヤを元通りに戻し、トップフードをおろします。  
ホヤ受けの円盤の中央にバーナーがくるよう、トップフード下部のホヤ押さえがホヤの上部にきちんと収まるよう、手で調整・誘導してください。
- ⑧もとの状態に戻ったら、レバーを押し下げてバーナーチューブの先から芯が1-2mm出ていることを確認し、レバーを戻してホヤを下ろしてください。
- ⑨準備ができれば燃料を入れます。  
注油口キャップを開け、フィルターチューブの下のラインより上に油面がこないよう注意して給油します。  
※まれに、接合不良によりタンク底のわずかな隙間からオイルが漏れる場合があります。最初はごく少量のオイルを入れ、ぼろ布、新聞紙等の上に置いて、1時間程度漏れがないか様子を見て下さい。
- ⑩給油が完了しましたら、芯に燃料が浸透するまで静置します。
- ⑪以上の準備が完了しましたら、レバーを下げ、芯がじゅうぶん濡れていることを確認して、ロングライター、マッチ等で芯に点火してください。  
レバーは支柱の溝に固定するようになっていますが、溝が浅く固定できないこともございますので、手で保持するようにしてください。  
点火は屋外で行うようにしてください。異常燃焼する場合危険です。
- ⑫点火できましたら、レバーを戻してホヤを下げます。  
ホヤがまっすぐ降りてくこない場合は、手で誘導してホヤ受け、トップフードにきちんと収まるよう誘導してください。

2度目からは⑪から行って下さい。ご使用開始まもなくは、燃焼が安定しないことがあります。炎の大きさは調整ダイヤルを回して行いますが、様子を見て、徐々に炎を大きくしてください。炎の大きさは2cm程度が適正です。大きくしすぎると煤の原因となり、燃費が悪く、芯も早く消耗します。

## ご使用手順 2 消火

燃料がなくなると自然に火は消えますが、芯の消耗も速くなります。  
 消火は調整ダイヤルを回して芯を下げるか、レバーを下げて芯を少し露出し、横から吹き消します。  
 ダイヤルを下げる場合は、タンクに芯が落ち込んでしまう場合がありますのでご注意ください。  
 また、消火後ダイヤルを戻して、確実に消火できていることを確認してください。

## お手入れについて

芯は最初の点火後、先が黒くなりましても燃焼状態が良ければそのままご使用いただけます。  
 都度カットする必要はありません。燃焼が悪い場合カットして下さい。

燃焼不良によりバーナーが煤で汚れた場合は、歯ブラシなどで煤を落としてください。

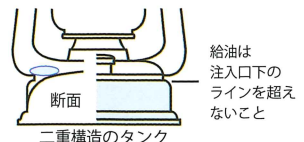
ホヤが汚れましたら、完全に冷えた状態で取り外して、食器用洗剤等で洗って下さい。  
 ガラスの縁が鋭くなっていることがありますので、軍手を使用するなどし、怪我にご注意下さい。

芯が消耗して液面につかなくなりましたら、新しい芯に交換して下さい。  
 芯はサイズの合ったもので、綿100%のオイルランプ専用芯をご使用下さい。  
 手順1の要領で、バーナーを取り外し、古い芯を抜いて、新しい芯を下から差し込み、調整ダイヤルを回して上部に出して整形(端のカット)をして下さい。  
 付属の替え芯がある場合は、タンク容量に応じて、1回分20cm程度に切ってご使用下さい。

塗装の剥げた部分、鋼製部分が露出している部分は赤サビが出ます。  
 雨水に当てないよう、湿気の少ない場所に保管してください。  
 タンクの中がさびている場合がありますが、軽いサビの場合は燃料を入れご使用開始後、サビの進行が止まります。  
 屋外に放置するなどしてサビが進行しますと、オイル漏れを生じることがあります。

バーナー、ホヤは消耗品です。  
 バーナー内部のギアがゆるんで空回りするようになりましたら、新しいバーナーに交換して下さい。  
 ホヤは個体差があり、もちがよいものと悪いものがあります。  
 スペアのホヤをご用意いただくと安心です。

燃料入れすぎに注意し、運搬の際は、燃料をできるだけ抜いて下さい。  
 転倒、揺れにより、燃料漏れを生じる場合があります。  
 いったん燃料漏れを生じると、内部に燃料だまりができ、外部に長期間染み出すことがあります。(右図参照)



支柱の付け根、フィルターチューブの付け根からの燃料漏れは構造的なもので、揺らした場合避けられません。  
 汚れて困る場所に置かないようにし、漏れが止まるまでこまめに拭いて下さい。下さい。

## こんなときは・・・

### ◆火が消えてしまう・暗い・芯が焦げる・煤が大量に出る

芯に燃料がじゅうぶんに浸透していない

⇒時間をおいてから点火してください。燃料が浸透しにくい芯の場合芯を交換して下さい。

間違った燃料(粘性の高いものや劣化した灯油など)を使用している

⇒パラフィン系オイルランプ用燃料、または劣化していない白灯油をご使用下さい。

白灯油のほうが、純度の高いパラフィンオイルより炎が明るい傾向があるようです。

バーナーチューブが芯の厚みに合っていない

⇒バーナーに個体差があるため、オリジナルの芯、お手持ちの芯が合わない場合があります。おまけの芯があれば、そちらに交換してみてください。

ご使用開始後しばらくは、炎が安定せず、すぐに消えてしまうことがあります。

⇒時間をおいてからご使用いただき、気長に様子を見て下さい。

### ◆激しく燃えて危険

⇒燃料が間違っていないですか？ホワイトガソリンなどではないか確認してください。

芯が出すぎていませんか？平たいチューブから1-2mmの出にとどめて下さい。

ドーム状のカバー近くまで芯が出ていたり、はみ出しているのは出し過ぎです。

### ◆調整ダイヤル(バーナー内部のギア)が空回りする

⇒芯の厚みが合っていない場合、ギアが芯の表面にからまない場合、空回りします。

お届け後、間もない場合で、かつ芯を付属の替え芯に交換して解決しない場合は、ギアが壊れていることが考えられますので、ご連絡下さい。

### ◆底から燃料が漏れる

⇒ハリケーンランプは部品の組み合わせでできているため、接合不良場合があります。

お届け後間もない場合で、かつ前頁図のオイルだまりによる構造的な漏れでなく、

底部接合不良が明らかな場合は初期不良対応いたします。

### ◆ホヤに気泡、傷がある、本体の塗装ムラがある

⇒ランプは手作りの工程が多いため、個体差があります。

ガラスの小さな気泡、傷はご使用に支障のない範囲で検品合格としております。

縁が鋭利な場合がありますので、お怪我にご注意下さい。

塗装の状態につきましても、完成品への塗装のため塗料がかからない部分、ムラになっている場所があります。

### ◆タンクにレインボーオイルが残っている場合、灯油を足してよいか

⇒燃料の混合使用は、レインボーオイルの長所(臭いが少ない、煤が少ない)が減殺されますのでおすすめしませんが、タンクにどちらかが残っていてつぎ足す場合は特に問題ありません。空にして乾かしたりする必要はありません。

---

販売者 株式会社キャナルシップ

こだわり雑貨の店「銀の船」

〒516-2103

三重県度会郡度会町棚橋1868-49

TEL 0596-62-0751/FAX 052-308-3989

Email:ginnofune@canalship.com

## 重要

ハリケーンランタンのお買い上げありがとうございます。

1. ご使用いただける燃料は、白灯油（石油ストーブ等の燃料）、パラフィン系のオイルランプ用オイル（レインボーオイルなど）です。アルコール、ベンジン、ガソリン、ホワイトガソリンはご使用いただけません。燃料容器の説明書をご覧ください、ホワイトガソリン等の表示がある場合は危険ですので絶対にご使用にならないでください。また古い灯油の場合、燃焼不良を起こす場合がありますのでご使用にならないでください。
2. まれに、接合部不良により、タンク底から燃料の漏出を見ることがあります。ご使用開始前に少量の燃料を入れ、汚れても支障のない場所にて古新聞紙の上などに数時間静置し、異常がないかどうかご確認の上、ご使用下さい。異常がある場合は下記までご連絡下さい。
3. ハリケーンランタンの構造上、内部は密閉されておりませんので、左右支柱（ステー）の付け根、及び注油口周囲の接合部より、オイルの漏出や滲み出しが起ることがあります。燃料の入れすぎ、傾きや揺れにより燃料があふれ内部タンク外側に滞留していることが原因の場合、特に異常ではありません。こまめに拭っていただき、漏出がとまりましたら、そのままご使用いただけます。燃料は注油口の下ラインを超えないように入れていただき、傾けたり揺らしたりしないようご注意ください。
4. 燃料漏出等により什器等を汚損した場合の補償はいたしかねます。ご使用の際は注意事項をお読みいただき、燃料漏出がないことをお確かめの上、周囲に燃えやすいもの、汚損して困るようなもののない場所（屋外など）でご使用下さい。

販売者 株式会社キャナルシップ こだわり雑貨の店「銀の船」

〒516-2103 三重県度会郡度会町棚橋 1868-49

電話： 0596-62-0751

Email: [ginnofune@canalship.com](mailto:ginnofune@canalship.com)